

++++
「植物と人々の博物館メルマガ」 第 5 号 2015 年 9 月 24 日発行
++++

ツクツクボウシも鳴く間もなく、秋めいてきました。本当に気候変動が著しいです。
でも、逞しく暮らしていきましょう。

会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りします。

ご関心のあるご友人に転送などでご紹介いただき、信頼の「ロコミ」で広報していただける
とうれしいです。

連絡先は下記メールアドレスです。

1. 日本村塾 Nihonmura College for Environmental Studies

伝統知を学び合うことで、トランジッションの「素のままの美しい暮らし」(Sobibo) を
勧める。

参加希望者は木俣にメールください。 kimatami@u-gakugei.ac.jp

予定：

1) 自給農耕ゼミ第 3 回 日時：11 月、場所：藤野、雑穀を料理する。

2) 民族植物学ゼミ第 2 回、扶桑くにゼミ第 3 回 日時・場所：未定、読書会。

報告：下記の読書会を実施しました。

1) 民族植物学ゼミ第 1 回

内容：読書会、内村鑑三著『地人論』。

2) 扶桑くにゼミ第 2 回

内容：読書会、トルストイ著『神の国は汝等の衷にあり』、藤沼貴著『トルストイ・クロ
ニクル、生涯と活動』。

日時：9 月 20 日(日)、場所：小金井市の東小金井マロンホール。

2. 道の駅小菅で展示中 「雑穀街道」

日時：9 月 1 日～10 月 31 日

内容：雑穀をモチーフにしたテキスタイル、種子とその解説、雑穀街道の

現代史「古守豊甫医師による長寿村桐原調査からエコミュージアム日本村まで」など。

3. 環境学習セミナー ご関心のある方はどなたでも参加歓迎です

1) 第 35 回環境学習セミナー

環境学習の源流から未来へ 自然文化誌研究会冒険探検部創設 40 周年記念

【プログラム】

2015 年 10 月 10 日 (土) 会場：植物と人々の博物館 (山梨県小菅村中央公民館)

12:30 ~ 受け付け開始

13:00 ~ 第一部 源流を探る・ふりかえる 司会進行：中込卓男
探検部草創期 (1975 年頃) 中込卓男 柴田一

子どものための冒険学校・五日市時代 (1988 年頃) 佐藤雅彦

大滝村・エコミュージアム (1990 年代) 小川泰彦

タイ環境学習キャンプ (1990 年代) 中込貴芳

ぬくい少年少女農学校～ちえのわ農学校 (2001 年頃) 菱井優介

小菅村～現在 (2004 年頃) 黒澤友彦

16:00 ~ 第二部 どのような未来へ行くか? 司会進行：中込貴芳

基調講演

亀井雄次 (小菅村観光協会)

塚原東吾 (学芸大学冒険探検部創設者)

木俣美樹男 (学芸大学自然文化誌研究会創設者)

19:00 ~ 懇親会 (船木民宿を予定)

10 月 11 日 (日) 小菅村がはじめての人は、本会の活動場所をご案内します。

※そのまま、10/11-12 の日程で「INCH ライブ」を開始します (2泊3日でいかがでしょうか?)

参加費：宿泊の方：一般 5,000 円 学生 1,500 円、セミナーのみの方：一般 1,000 円 学生 500 円

2) 第 36 回環境学習セミナー

持続可能な地域社会の再検討～『明日の小菅村を探る』～

過疎高齢化や限界集落など悲観的な用語が世間を飛び交う中で、日本の山村は多くの課題を抱えながらも、

素のままの美しい暮らしを、今に継承してきた。源流の郷 (日本小菅村発)、エコミュージアム (フランス発)、

トランジションタウン (イギリス発)、美しい村連合 (フランス発) の 4 つの代表的事例からその活動経験を学び、

地方消滅論を再検討し、これを克服する方策を探る。現在、人口 700 人余の小菅村でも、源流の郷やエコミュージアム日本村など、以前から多く村づくりの取組みがなされている。これらの経験を自ら学び直し、また、他村の経験をともに学ぶためのセミナーにしたい。

日時：2015年11月14日（土）～15日（日）

場所：山梨県小菅村 役場および中央公民館

参加費：資料代など3,000円、懇親会参加費3,000円、体験参加費500円、宿泊（1泊朝食）6,000円

連絡問合先：NPO 法人自然文化誌研究会 事務局 黒澤友彦

e-メール npo-inch@wine.plala.or.jp Tel/Fax: 0428-87-0165 携帯 090-3334-5328

主催：NPO 法人自然文化誌研究会、エコミュージアム日本村／ミュージーズ研究会

共催：NPO 法人 ECOPLUS、協力：東京学芸大学環境教育研究センター、後援：小菅村、トランジション・ジャパン

【プログラム】

11月14日（土） 『明日の小菅村を探る』～持続可能な地域社会の再検討～

昼の部～会場は小菅村役場新庁舎

12:30～ 受け付け開始 小菅村役場新庁舎

13:00～13:20 趣旨案内と挨拶 青柳諭（ミュージーズ研究会代表）

13:20～13:50 源流の郷小菅村 佐藤英敏（小菅村教育長）

13:50～14:20 全国のトランジションタウン活動と藤野の例

小山宮佳江（NPO 法人トランジション・ジャパン共同代表）

14:20～14:30 休憩

14:30～15:00 「日本で最も美しい村」連合が目指す地域社会の未来
杉一浩（NPO 法人「日本で最も美しい村」連合 常務理事）

15:00～15:30 講演 地方消滅論の再検討 山下祐介（首都大学准教授）

15:30～15:40 休憩

15:40～16:30 質疑応答など

16:30～16:45 まとめ 木俣美樹男（東京学芸大学名誉教授）

夜の部の会場は小菅村中央公民館、植物と人々の博物館の展示案内。

18:30～20:30 懇親会（フリートーク・立食、宿はR&B）

歓迎の挨拶 船木直美（小菅村村長）

11月15日（日） 『小菅村を楽しむ』

トレイルマップがあるので、希望者は各自で散策できます。

9:00～ 集合・説明

9:30～11:30 体験へ出発 <

◆ こんにやく体験と掛け軸畑（橋立地区：木下新造）

◆ 養殖業と天神山（川池地区：小菅一芳）

4. 雑穀見本園の生育状況など

1) 雑穀栽培見本園のキビは 9 月初めに収穫、アワは 10 月 11 日に収穫予定。

2) 道の駅小菅駐車場わきの雑穀見本園のキビ（イタリア産出穂中、秋山郷、奥多摩在来）、アワ（小菅在来モチ、ウルチ）、センニンコク（ハワイ）、モロコシ（在来直立穂、下垂穂）、ヒエ（西原在来）、ハトムギ（富山産）、シコクビエ（西原在来）が登熟中です。

3) オオムギは上野原市西原の水車で、中川さんのご指導により、精麦しました。丸麦をおばくなどにして食べます。2 回目の搗精ができました。

ダンゴムギの搗精もしていただいています。希望者には 250 g 袋・レシピ付を差し上げます。10 月末には播種します。

5. 民族植物学ノート第 8 号ができました。第 9 号雑穀特集英文は編集中です。

第 10 号は 2016 年 3 月頃締切で原稿を募集します。

希望者に差し上げます。送付先住所を添えて、e-メールなどで木俣までお申し込みください。

バックナンバーは下記の HP 植物と人々の博物館（ミュージアムグッズ）で読めます。

第 9 号の内容は下記です。

巻頭言 多様な生活文化の中の雑穀（特集）。Agricultural complex of millets in the Indian subcontinent<、

M. KIMATA, Y. ISHIKAWA, H. KAGAMI, A. OTSUBO and K. OTSUKA<。

Domestication process and linguistic differentiation of millets in the Indian subcontinent<、Mikio KIMATA<。

Tertiary domestication process of <korati, *Setaria pumila* (Poaceae) through the mimicry to other grain crops in the Indian Subcontinent、

Mikio KIMATA<。Domestication process of <korati, *Setaria pumila* (Poaceae), in the Indian subcontinent on the basis of cluster analysis

of morphological characteristics and AFLP markers<、Mikio KIMATA<。Domestication and dispersal of <*Panicum miliaceum*

L. (Poaceae) in Eurasia<、Mikio KIMATA。

.....
植物と人々の博物館は、山梨県小菅村で行っているエコミュージアム日本村（トランジション小菅）のコア博物館です。

これは NPO 自然文化誌研究会のボランティアな公民館活動プロジェクトで、小菅村と東京学芸大学の社会連携に協力しています。

ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし sobibo や伝統文化を村人から一緒に学び、継承するプロジェクトに参加して下さると、とてもうれしいです。

自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀栽培見本園などを山梨県の山村小菅の暮らしと

関係づけて展示、整理、解説しています。雑穀栽培講習会、日本村塾 3 ゼミ（自給農耕、民族植物学、扶桑こく）、

環境学習セミナーなども開催しています。雑穀街道（さあ山村）を、都市から農山村に暮らし向きを求め、

鎌倉街道（いざ鎌倉）と反対方向に創ることを提案しています。

現在の日常活動（原則として月曜日か金曜日）

1. 雑穀栽培見本園の管理
2. 民具展示の整理
3. 雑穀標本の整理
4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイなど海外関係図書の整理、番号付をしています。

館長：木下善晴（小菅村在住）

自然文化誌研究会（東京都）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦

ミュージーズ研究会（小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

事務局：黒澤友彦（小菅村在住） npo-inch@wine.plala.or.jp

研究員塾生：木俣美樹男、西村俊、藤盛礼恵ほか

連絡先：木俣美樹男 kimatami@u-gakugei.ac.jp

ホームページ：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>
